

令和5年度 津久井地区まちづくりを考える懇談会結果報告

- 1 日 時 令和5年12月14日（木）午後6時から午後7時47分まで
- 2 場 所 津久井総合事務所3階 第1・2会議室
- 3 市側出席者 本村市長、奈良副市長、石原緑区長、藤井環境経済局長、
杉浦リニア駅周辺まちづくり部長、小山基地対策・中山間地域対策担当部長、
関緑区副区長
- 4 出席委員等 21人
- 5 傍聴者 4人
- 6 懇談会の要旨

テ ー マ	“リニア”とともに魅力を発揮する津久井地域の自然と産業
概要	<p>日本の最先端技術が詰まった“リニア中央新幹線”の停車駅である神奈川県駅（仮称）が橋本駅周辺に、関東車両基地が鳥屋地区に設置される機会をチャンスと捉え、未来のためのまちづくりを興すことが早急に必要である。</p> <p>一方で、リニア中央新幹線の開業に伴う、神奈川県駅（仮称）から鳥屋の関東車両基地までの回送線の旅客線化及び中間駅の構想を掲げる場所は、現状、答申の段階ではあるが、次期一般廃棄物最終処分場の候補地に選定され、我々の将来のまちづくりの構想に影響がないか非常に懸念をしている。</p> <p>昨年度の地区まちづくりを考える懇談会において、市からリニア回送線の旅客線化については、国や神奈川県、JR東海に対し、機会を捉えて働きかけを行っていくとの回答があったが、その後の状況について伺う。</p> <p>さらに、リニア中央新幹線の開通に伴う、神奈川県駅（仮称）及び関東車両基地を起点とした「さがみロボット産業特区」を活用したロボットの実用化や普及など市の産業施策について懇談したい。</p>
地区の取組状況等	<p>津久井地区まちづくり会議では、かねてより、神奈川県民の水源供給地としての役割を担う特異な津久井地区の発展のために、リニア中央新幹線の開業に伴う、鳥屋の関東車両基地までの回送線の旅客線化及び中間駅の設置によるまちづくりについて提言を行ってきた。</p> <p>令和5年度は、本市が「さがみロボット産業特区」に指定されていることから、ロボット産業の可能性についても検討を進めてきた。</p> <p>地域の産業発展のために、地域を取り巻く課題の解消を目指している。</p>
市の取組状況等	<p>現在、橋本駅南口に建設中の（仮称）神奈川県駅は、橋本周辺だけでなく、津久井地区の玄関口としても、大きな可能性があると考えている。</p> <p>都心からのアクセスの良さを持ちながら、川や山を身近に感じることができる自然豊かな津久井地区は、非常に魅力的であり、リニアが津久井地区や緑区の振興につながるよう取り組んでいく。</p> <p>初めに、リニア中央新幹線の車両基地までの回送線の旅客線化について、これまでも、市長からJR東海に対して、回送線の旅客線化の検討をお願いしており、直近では、令和5年10月14日に、市長がJR東海の丹羽社長と面会した際に、工事の安全対策や津久井地区における観光振興への取組とともに回送線の旅客線化についても将来的には検討をお願いしている。</p>

	<p>現在、JR東海は、品川・名古屋間の開業を目指し、事業を進めており、市としても、まずはその建設促進に取り組んでいき、旅客線化は採算性など解決すべき課題があるが、地域の活性化や観光振興に繋がるものと考えている。</p> <p>次に、「さがみロボット産業特区」については、介護現場や災害現場、商業施設等で活躍するサービスロボットの实用化と普及に取り組んでいる。</p> <p>昨年度の市内での取組として、アリオ橋本で様々なロボットの実証実験が行われたほか、市も協力して相模川でドローンによる河川監視の実証実験が行われた。市では、工場等で活躍する産業用ロボットの導入を中心に支援を行ってきたが、近年では、特区と同じく、サービスロボットの实用化に向けて、配膳ロボットや車いすロボットなどの開発の支援を行っている。</p> <p>今後も、こうした取組を継続するとともに、社会情勢や企業ニーズなどを踏まえ、県との連携や事業の見直し等を行い、より効果的な支援策を検討していく。</p> <p>最後に、次期一般廃棄物最終処分場について、令和3年度に基本構想を策定し、「候補地選定審議会」による審議を経て、令和4年3月に候補地として緑区根小屋の2箇所、南区麻溝台の2箇所が答申された。答申された内容については、候補地がある津久井地区、南区麻溝地区において、それぞれのまちづくり会議や地区自治会連合会の会議の場で説明するとともに、市民説明会を実施し、質問や意見を伺ってきた。</p> <p>また、候補地の選定を進めるため、候補地の現地踏査や技術的な検討も行いながら、候補地毎の情報収集や課題の整理に取り組んでいる。</p> <p>引き続き、皆様方との対話を通じて、ご意見や考え方を伺うとともに、自然環境やまちづくりへの影響、安全上の対策、整備費用など様々な面から検討し、最終候補地の選定を進めてまいります。</p> <p>いずれもリニア中央新幹線との関連があり、期待の大きいリニアが津久井地区の活性化につながるよう引き続き取り組んでいくので、地域から忌憚のない意見をいただければ幸いです。</p> <p style="text-align: right;">(奈良副市長)</p>
--	--

懇談内容	
<p>地区の発言</p>	<p>関東車両基地までの旅客線化で、関東圏、中部圏、関西圏を結ぶ、約7,000万人の交流経済拠点生まれるということで、津久井地区も大きなポテンシャルを持ち期待している。</p> <p>昨年の懇談会の時も、市長から国、県、JR東海とともに前に進めていきたいと言っていたき本当に嬉しく、また期待をしているところである。</p> <p>リニアコンサートなど、機運を高める働きかけをしていると認識しているが、旅客線化についてどのような機運を高めるイベント等の働きかけをしていただいたか、また、今後の計画があれば教えていただきたい。</p>
<p>市の発言</p>	<p>JR東海からすると、まずは本線をできるだけ早く完成させるということだが、本日、開業時期を2027年度以降に変更することが発表された。</p> <p>市としても、まずは本線を進めることに、協力していくべきだと思っている。皆様もご存知のとおり、リニア中央新幹線は、ほとんどが地下になっており、橋は地上に出るが、空気圧の関係もありフードを被るので本当に新幹線が見えるのは車両基地のみになる。そういったところを観光資源としていくとともに、色々</p>

	<p>なことをやっていけば、人が集まり、人が集まれば、その次の計画として旅客線化の話になっていく。</p> <p>九州の博多南も車両基地が出来てから旅客線化まで16年かかっている。時間がかかるから止めるのではなく、神奈川県や他の自治体を含め、言い続けたいといけなと感じている。 (杉浦リニア駅周辺まちづくり部長)</p>
地区の発言	<p>車両基地が鳥屋に建設される計画において、今のタイミングを逃すと、今後、実現するために多額な費用がかかってしまう恐れがあるため、リニア車両基地を見学するための見学施設の設置を提案する。リニアに関する観光施設は、山梨県立リニア見学センターが都留市にあり、リニア実験線の走行実験を見学できる日本で唯一のミュージアムで、最新のリニア車両等の展示や、運転シミュレーターができる体験施設でもある。</p> <p>しかし、実際に緑豊かな自然の中で見学できる場所はこの津久井の車両基地のみではないか。このチャンスに車両基地を起点とした観光リゾート地域にするためにも見学施設が必要だと思う。見学施設ができれば並列して提案している旅客線化や有人ドローン計画など今後拡大していく可能性のある施設等の一助になると考えている。</p> <p>さらに、車両基地の周囲には、津久井湖、相模湖、宮ヶ瀬湖などといった自然や、レジャーが楽しめる観光スポットもある。</p> <p>できることなら、山梨県立リニア見学センターならぬ相模原市立リニア見学センターができることを切望しているが、市の考えを聞きたい。</p>
市の発言	<p>決定している話ではなく私見が入っているが、例えば展望台、名古屋にあるようなリニア博物館など、様々な形態や規模があるが、せつかく車両基地が建設されるので、リニアに関連した施設を求めていかないといけなと思っている。ただ、リニアだけでは全体に広がっていかないので、観光面で言えば、例えば、宮ヶ瀬湖や、レンタサイクル、キャンプ場等と様々な組合せを考えることができ、先ほどのドローン基地も確かに面白いと感じた。皆に来てもらうような観光地としての起爆剤が車両基地だと思っており、せつかくのチャンスなので、それを逃さないように一生懸命やっていきたい。 (杉浦リニア駅周辺まちづくり部長)</p> <p>緑区役所では中山間地域の振興について、皆様の声を聞きながら進めている。</p> <p>車両基地を起爆剤にした地域の活性化、また周辺の観光スポットを活かした地域の活性化は非常に重要だと思っている。</p> <p>津久井地区では、旧青根中学校の跡地を活用するため、民間事業者から提案を頂き、地域に人を呼び込む取組を始めたところである。</p> <p>リニア車両基地を契機に、いかに周辺の魅力的な観光スポットと連携した取組ができるか、また、施設を作るのはハード面もあるが、色々なソフト面での振興策もあると思うので、区役所と地域の皆様でよく話し合っ意見を聞きながら進めていきたい。 (石原緑区長)</p>
地区の発言	<p>J R 東海に聞くと、車両基地の敷地が狭いため、見学施設の整備は難しいかもと言われるが、鳥屋小学校跡地の活用を検討するなど、もう少し見学施設ができるように考えていただきたい。</p>

<p>市の発言</p>	<p>色々なやり方はあると思うが、周辺道路の整備、例えば展望台までの道路なども含めて考えていきたい。</p> <p>J R東海が土地を買って進めているので、観光施策を何もしないということはないと思っている。ぜひそうなるように引き続きJ R東海とは話をさせていただく。 (杉浦リニア駅周辺まちづくり部長)</p>
<p>地区の発言</p>	<p>写真が好きなので、ぜひ写真を撮れるような、スポットもできると良いと思っている。</p> <p>また、この前橋本の工事現場のPRビデオを観た時に、車両基地についての内容が一切触れられていなく、非常に残念に思ったので、J R東海にぜひ言っていただき、もう少し車両基地のアピールをしていただきたいと思いますのでよろしくお願ひする。</p>
<p>地区の発言</p>	<p>リニアの件に関しては一つの起爆剤となり、人々が集まれるモビリティになるということで、観光資源の一つに必ずなると思っている。</p> <p>また違う側面で考えると、この地域は災害が大きな課題となっている。中山間地域で災害が起きた時、道路が遮断されて自動車が走れないとなった時に有人ドローンが鍵になってくると思う。</p> <p>市も検討されていると思うが、実際に災害面も含め、ドローンの活用について民間と協力している等、どういう状態にあるのか教えていただきたい。</p>
<p>市の発言</p>	<p>ドローンについて、市として深く研究をしているということはないが、災害の中での活用については協定締結など取り組んでいることはある。11月1日にJ R東海と神奈川県と3者で協定を締結し、橋本駅にオープンイノベーションの拠点を作る。そこでは、ロボットの実用化や最新技術の研究など、色々な企業に集まっていただき、橋本発で技術を発信していこうという取組をこれから行う。津久井地区でドローンがどんなことができるかは十分検討の対象だと思うので、ドローンに限らず、地域の皆様の生活を助けるようなロボットや最新技術を橋本発で発信し、津久井地区にも広げようようにしたい。 (藤井環境経済局長)</p>
<p>地区の発言</p>	<p>ロボット産業特区は、必要性、重要性、話題性があることだと思う。</p> <p>相模原市が一番で橋本のリニアや災害に強い部分を有人ドローンで発揮していただきたいと思うので、ぜひとも、力を入れていただきたい。</p>
<p>市の発言</p>	<p>ロボット産業特区は今回3期目で、令和5年度から令和9年度まで採択された。ロボット産業特区は、生活の安全や安心の確保、生活支援ロボットの導入ということが大きなテーマにある。</p> <p>特区では色々な規制緩和も可能であり、実証実験もやりやすくなるので、利点を活かしていきたい。 (藤井環境経済局長)</p>
<p>地区の発言</p>	<p>関東車両基地が津久井地区にできることは非常にチャンスだと捉えており、やはり駅を建設していただきたい。どうすればそういった方向に進んでいくかというところで、津久井地区は、中山間地域であり、膨大な自然と自然資源がある。これをいかに魅力的に発信するかで、関係人口が増え、さらにより良い、持続可能なまちづくりができると考えている。そこで、先ほどお話のあった有人ドローンの基地を提案させていただく。</p> <p>まず、その先駆けとして、鳥屋地域で実際に観光や、有事の災害時を想定した実証実験を行っていただきたい。早期に実証実験を行うことができれば、駅の建</p>

	設に関しても、早期の問題解決の柱となり、全国的な模範として津久井地区に目が向いてくると思う。そうすることで、実現可能な一助となり、関東車両基地に駅ができるふさわしい地域になっていくと思っているが、市として、どのように進めていくか質問をさせていただく。
市の発言	<p>まだまだ有人ドローンの技術がどこまで必要か承知していないので、なかなか良い答えができないが、技術革新の進捗を勉強しながら、検討していきたい。</p> <p>(藤井環境経済局長)</p>
地区の発言	<p>私自身こうなって欲しいと思うドローンの形があり、生活だけではなく、アトラクション的な、津久井は本当に自然が多くて綺麗なので、上から眺めて、一緒に滑り降りるような感じのドローンなどがあったら、とても素敵だなと思っているが、この辺も考えの中にあるのかお聞きしたい。</p>
市の発言	<p>有人ドローンができれば色々な可能性はあると思う。例えばプレジャーフォレストの中に置いて、自由にかけて回ったり、空中から色々な湖の景色を撮るなど非常に有効なアトラクションになると思う。どの段階から使えるようになるかはわからないが、有効な取組だと思うので、積極的に検討していきたい。</p> <p>(藤井環境経済局長)</p> <p>特に藤野の方になるかもしれないが、外国人が来る傾向として自然を歩くことを楽しみに来られる方が多く、国としてはアメリカやイギリスが多い。相模湖の方になるとアジア系の方が多く、そのほとんどがプレジャーフォレストに行くと言っている。わざわざイギリスやアメリカから日本に来て、なんで山を歩くのかは素朴に思うが、安全に山歩きを楽しめる所は実はそうそうないという話も聞く。そういう意味では意外と海外の人には刺さる資源があるのかなと思うので、ドローンで山の景色を世界に配信するのも面白いアイデアだと思った。</p> <p>(小山基地対策・中山間地域対策担当部長)</p>
地区の発言	<p>宿泊施設について質問させていただく。自然豊かである津久井地区には、キャンプ場も多くあるが、宿泊施設はほとんどない。今後、地域資源を生かすためにも、宿泊施設の誘致や税制優遇などが必要だと思う。</p> <p>鳥屋に関東車両基地が設置される機会をチャンスと捉え、神奈川県駅から回送線の旅客線化が実現され、更に車両基地周辺に有人ドローンの基地が設置されれば、鳥屋地区に民間事業者の宿泊施設を誘致することで、周辺には宮ヶ瀬湖、津久井湖、相模湖があり、車両基地の見学とあわせ、観光客が訪れ、地域活性化もできて、津久井地域が魅力あるまちへ発展していくと思う。</p> <p>インバウンドの取組を含め、宿泊施設の誘致について市の考えはいかがか。</p>
市の発言	<p>宿泊施設の建設には色々な条件があると思う。この場で出来る出来ないの答えが出せず申し訳ないが、車両基地で車両が見えるのは夜間になるので、泊まっていたら、翌日は、近隣のスポットを見てもらうといったことができるようにJR東海含め、話をしていきたい。</p> <p>(杉浦リニア駅周辺まちづくり部長)</p>
地区の発言	<p>内閣官房が出している「歴史的資源を活用した観光まちづくりの成功事例集」というのがあるが、相模原市として、こういった取組をされる予定があるのかお伺いしたい。</p>
市の発言	<p>緑区にも歴史的資源として、例えば、相模湖には、神奈川県で唯一の現存している小原宿本陣という非常に貴重な財産があるが、ご存知ない方も結構いる。小</p>

	<p>原宿本陣の周辺には古民家がたくさんあり、民間の方がお酒の醸造といったことなどに活用している。</p> <p>さらには、「小原の郷」という市の施設があまり生かされていないということで、今、地域の皆様と知恵を出し合って情報発信をし、来てもらえるような取組を考えている。</p> <p>魅力ある歴史は地域の貴重な財産なので、地域の皆様の声を聞いて、一緒になってどのように出来るか考えていきたい。 (石原緑区長)</p>
地区の発言	<p>この場所が最終処分場の場所に選定されていること、計画から掘って満杯になるまで35年間かかると説明を聞いている。令和2年の国勢調査に基づく将来の人口推移で津久井地区は約35年後には1万1,000人程度になってしまう数字が出ている。それだけのスピードで2人に1人がいなくなってしまう、何もしなければもっと早いスピードで人口が少なくなっていく状況だと思う。やはりこの地域の価値を高めるためにも、また、水源文化都市として発展してきたこの場所としても、ここが一番適しているのかどうかもう一度よく考えて検討していただきたい。地域の人はこれからどうなるのか本当に心配している。</p>
市の発言	<p>最終処分場については、これまで担当課から説明をさせていただき、様々なご意見をいただいている。現在4か所それぞれの課題の整理を行い、あわせて事業費の精査をしている。最終的にそういったことを勘案しながら検討していきたいため、もう少しお時間をいただきたい。</p> <p>また、現在の最終処分場をご覧いただき、どういったものなのか確認していただきたい。最終処分場はマイナスな面だけではないが、引き続き色々なご意見をいただければと思う。 (藤井環境経済局長)</p>
地区の発言	<p>2019年の災害でも想像しえない被害だった。是非ともその部分を含めて考えていただきたい。</p> <p>また、いつぐらいの判断時期になるのか決まっていれば教えていただきたい。</p>
市の発言	<p>明確な判断時期は決めずに、まずはご理解いただく。現在の最終処分場は令和19年中頃で埋まってしまうが、ごみの減量化が進めば延命化もできるので、皆様への説明とあわせて、一生懸命減量化や廃棄物の再利用化を進めながら、延命化も図りつつ、進めていきたい。 (藤井環境経済局長)</p>
地区の発言	<p>津久井は潤水都市の象徴たる地区であり、非常にポジティブな側面である。また一方で最終処分場の設置は考え方によってはネガティブに捉えられる。やはりポジティブとネガティブの両立は考え方としては非常に大事であり、現時点の水源地及び候補地としての両面の考え方について市長にお伺いしたい。</p>
市の発言	<p>最終処分場自体マイナスの面もあるが実際に見ていただきイメージを払拭したいと思っている。場所が決まった訳ではないが、最終処分場の周辺の緑の環境を補整しながら整備することも可能である。また、地域の皆様からは、下水の整備についてもご意見をいただいているため、検討しながら、極力、地域の環境に影響を与えないような制度も可能だと思うので、マイナスの面とプラスの面を合わせて行っていきたい。長期的な話にはなるが最終的に処分場が完了すると広大な平地ができる。他の事例を見ると、芝生広場や広大なオープンスペースとしている事例があるので、そういったものを活用した将来的な津久井のまちづくりができなくはないと思うので、長期的な視点で考えていきたい。</p>

	<p>これまでも地域の方に説明を行ってきたが、今後も呼んでもらえれば説明に伺うのでよろしく願います。 (藤井環境経済局長)</p>
地区の発言	<p>現在、市は、リニア中央新幹線神奈川県駅が橋本駅に近接して設置されることに伴い、当該駅周辺地域を広域交流拠点とすべく、リニア駅周辺まちづくり部が中心になり、開業を見据えたまちづくりを目指し、各種事業を推進していると思う。関東車両基地が鳥屋に決定され、既に6割以上の土地取得契約が完了。また、JR東海と工事請負業者がすでに決定し、契約済みと聞いている。</p> <p>副市長の先ほどの話の中で、リニアに関する対応策は橋本駅周辺のみではなく、津久井も含めて考えているとの説明があったが、市としての当該地域に対する具体的な取組や施策が我々には全く見えない。ついては、車両基地に近接性を生かした将来に向け、津久井地区の自然と調和した新たな産業を創出すべく、地元や商工会、自治会等、まちづくり会議が一体となって、ビジョンの策定をすべく、市主導で検討委員会の設置を早急をお願いしたい。また、中部総合車両基地及び関東車両基地の役割の違い等について教えていただきたい。</p>
市の発言	<p>関東車両基地と中部総合車両基地では、規模的に中部総合車両基地の方が大きく、2か所の基地で役割を分担する。</p> <p>橋本と関東車両基地ができる津久井地区はセットだと考えている。まだ具体的になっていないが、観光資源も含めJR東海や地域の皆様との意見交換や、話し合いを踏まえ、都市部、自然のある地域のまちづくりができれば市の発展に繋がると思っている。</p> <p>ビジョンの検討委員会は既に地域から様々な要望をいただいているので、まずはいただいている要望を整理した上で、検討させてもらいたい。 (杉浦リニア駅周辺まちづくり部長)</p>
地区の発言	<p>地権者の立場や車両基地ができる地元で様々な意見があると思う。また、商工会や自治会でもそれぞれ問題を抱えていると思う。既にそれぞれの団体から意見はあると思うが、バラバラにやっているのでは市としての最終的な施策のまとめができないと思う。限られた時期になってきているので、みんなが一堂に会して意見をぶつけ合って、この地域のより良い発展性のあるビジョンを作り上げていかなければいけない時に来ているという思いで発言をしているので早急をお願いをさせていただく。部長は橋本も津久井も一緒に考えると言われているが、我々には情報が何も入ってきていない。</p>
市の発言	<p>リニアは、駅部の橋本だけでなく車両基地含めてだと市は思っている。一方で、どうしても駅部の工事が先行して注目されるので、車両基地の方は今どんな状況なのかという不安や全然進んでいない、橋本と温度差があると感じているということだと思う。</p> <p>車両基地がどういう状況かという、ここで受託業者が決まり、どの道路から工事車両を通行させるかを協議している段階である。その道路が、現道のままでいいのか、拡幅が必要なのか、あるいは信号機を設置しなくてはいけないのか、子どもたちの通学時間に関してはどうかなどを協議し、その内容で良いかどうかを地域の方に説明していくことになる。</p> <p>関東車両基地の現状について正直に言うと、まだまだこれからJR東海と詰めていかないといけない段階である。リニア対策委員会、地域の方、地域振興協議</p>

	<p>会の方とも話をしているが、観光についてはまだ具体化していない。今こんな状況になっている、あるいはこういう絵で検討しているということは皆様と情報共有していきたいと思っているので、信じていただきたい。 (奈良副市長)</p>
--	---

<p>市長の感想等</p>	<p>リニア回送線に関しては、直近で10月14日と11月1日に丹羽社長に直接旅客化のお願いをした。実現にはまだまだハードルが高い部分があり、まずはJR東海も供用開始が先だと言っているが、先ほど副市長が言ったようにお願いし続けなければ消えてしまう。引き続き、津久井地区の皆様の思いを相模原市だけでなく神奈川県や国会、県議会、市議会の皆様の力を借りて進めてまいりたい。</p> <p>ロボット産業特区に関しては「相模原市といえばロボットのまちですね」と他の首長からは言われるが、72万市民の恐らく99%以上の方にはロボットのまちと知られていないと思う。産業用ロボットは非常に先進的だが、工場で使われているので私たちが目にするのは非常に少ないということで、ロボットの見える化を進めようと思っている。</p> <p>次期一般廃棄物最終処分場に関してたくさんお話をいただいたが、水源地域ということも重々承知をしている。また相模原市のみならず神奈川県知事はじめ副知事、各局長にも津久井地区は神奈川県の水がめで水源地域だということを言っている。水源環境保全税も令和8年で終わるので、保全の施策を神奈川県にお願いしていきたいのと、国税を活用し、引き続き水源地域の取組を進めていきたいと思う。その中で最終的には市長として、72万市民の幸せを考える決定をしなければいけないと思っている。</p> <p>リニアの観光化、見える化についてはJR東海に常々奈良副市長とともに話をしている。まずは車両基地の建設が優先だと思うが、津久井地区の皆様のご理解なしでは車両基地はできない。やはりリニアに対して反対、慎重の方もいるので、そういった方に対しても工事の見える化がされないとみんな信用しないという話をしており、恐らく品川から名古屋の駅建設工事で一番現場を見せているのは相模原市だと思っている。</p> <p>宿泊施設に関して、ある会社に何度かアタックしているが断られている。中山間地域にキャンプ場はあるが、宿泊施設がないというのが一つの課題だと思う。</p> <p>検討委員会に関して、緑区を中心に皆様との対話の場は大事だと思うので、検討させていただきたい。</p> <p>私達も市役所でパソコンと向き合っても市民の声は聞こえないので、皆様に会いに行く機会を作らせていただきたいと思う。 (本村市長)</p>
---------------	--